

国交付金を活用した平成27年度実施事業の効果検証について

資料5

交付対象事業の名称	事業概要	交付金の種類	実績額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)					本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
			単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
1 プレミアム付き商品券事業	市内の消費喚起・拡大を図るため、プレミアム付き境港ふるさと商品券(プレミアム率20%)を発行。 ・販売額/発行総額:2.56億円/3.12億円 ・販売・利用期間:H27年3月30日(月)~H27年9月30日(水)	消費喚起	57,779,425	指標①	設定なし					地方創生に効果があった	予定通り事業終了	H27年度にて終了
2 生活支援商品券給付事業	消費税率引上げによる物価の上昇などの経済情勢等を踏まえ、生活費等への影響を緩和するため、低所得者等に対して、商品券を配布する。 ※配布対象は、生活保護受給世帯(在宅)、児童扶養手当受給世帯、特別児童扶養手当受給世帯、特別障害者手当受給世帯であり、市内の小売店等で使用できる商品券(4,000円分/1世帯)を配布する。 ・発行額:2,936千円(734冊:734世帯分) ・利用期間:H27年3月30日(月)~H27年9月30日(水)	生活支援	3,603,866	指標①	設定なし					地方創生に効果があった	予定通り事業終了	H27年度にて終了
3 総合戦略策定事業	まち・ひと・しごと創生に関する目標や施策の基本的方向を定める「境港市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	基礎交付	2,965,000	指標①	設定なし					地方創生に相当程度効果があった	予定通り事業終了	H27年度にて総合戦略策定終了、今後PDCAサイクルを実施していくとともに、必要に応じて改定を行っていく。
4 着ぐるみによるおもてなし向上事業	妖怪キャラクターの着ぐるみによるおもてなしを行うことによって、「妖怪にあえるまち」をテーマに観光客の満足度向上に努める。 ・着ぐるみにかかる人件費、待機場所の使用料、着ぐるみ購入に係る経費 など	基礎交付	6,690,000	指標①	水木しげるロード年間入込観光客数	2,500,000	人	H28.3	1,971,949	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	H27年度のKPIは未達となったが、H28年は前年比増の入込観光客数で推移していることから、一定の効果があったものと分析している。事業内容の改善を図るなどして引き続き効果的な事業実施を行っていく。
5 私立保育園特別保育等助成事業(低年齢児、乳児、障がい児保育事業)	私立保育園に配置される保育士の増員を図ることによって、児童の健全な育成を促すとともに、保育士の就労環境の改善を図るために正規雇用を促進する。	基礎交付	9,670,000	指標①	待機児童数(50人未満)	50	人	H28.3	21	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	H27年度末時点でKPIを上回る実績となり、またH28年度当初には待機児童ゼロを達成し、少子化対策に効果があったと認められるため、事業を継続実施していく。
6 不妊治療費助成金	出生率の向上を図り、不妊に悩む夫婦等を経済的・精神的に支援するため、特定不妊治療と人工授精に要する経費の一部を助成する。 (不妊治療を行った夫婦に対する助成) ・特定不妊治療:上限5万円/回 ・人工授精:上限5万円/年	基礎交付	2,701,000	指標①	不妊治療後の母子手帳交付者数	18	人	H28.3	9	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	KPIは未達となったが、少子化対策に一定の効果があったと認められるため、事業の周知方法など見直しを図りながら、事業を継続していく。
7 漁業担い手育成研修事業	沿岸漁業への新規就業希望者に対して熟練漁業者による研修を実施し、新規就業者が短期間で技術習得を可能とし、漁業加入者の増加を図る漁協等に対する支援を実施する。	基礎交付	159,000	指標①	新規漁業就業者	1	人	H28.3	1	地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	本市の基幹産業である漁業の従事者確保に有用な事業であるため、事業を継続していく。

	交付対象事業の名称	事業概要	交付金の種類	実績額		本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		
				単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
8	水産加工品ブランド化事業	水揚げされた水産物を活用した境港ブランドの加工品の販路開拓に取り組む。 境港市産地協議会が実施する情報発信事業や水産加工大賞開催事業に対する支援を行う。	基礎交付	2,279,000	指標①	商品化件数	5	件	H28.3	3	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	KPIは未達となったが、本市の基幹産業である漁業振興に一定の効果があったと認められるため、より効果的な事業実施に向け、見直しを図りながら、事業を継続していく。	
9	創業支援補助事業	特定創業支援の認定を受け市内で創業する者に対し、創業時の設備投資等を支援する。(補助率1/2、上限100万円、2件)	基礎交付	1,510,000	指標①	新規創業者数	2	件	H28.3	3	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	KPIを上回る実績となり、地域経済の発展に効果があったと認められるため、事業を継続実施していく。	
10	中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会負担金	行政と商工会議所等で組織する中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会に負担金を支出し、圏域内企業が参加するビジネスマッチングを開催し、参加企業間及び発注企業との商談成立に繋げる。	基礎交付	1,000,000	指標①	ビジネスマッチングの参加企業	170	社	H28.3	271	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	KPIを大幅に上回る実績となり、地域経済の発展に地方創生に効果があったと認められるため、事業を継続実施していく。	
					指標②	商談数	300	件	H28.3	531				
11	観光客誘致事業	「さかな」と「鬼太郎」を活用した観光PRを行う。 さかなを活用したPR経費 ・大漁旗のリニューアル経費 鬼太郎を活用したPR経費 ・水木しげる記念館に光と音の情景演出に係る経費 ・漫画家園山俊二氏との合同企画展開催の経費 ・市内循環バスに水木しげる氏のイラストをラッピングする経費	基礎交付	4,466,000	指標①	年間入込観光客数	2,500,000	人	H28.3	1,971,949	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	H27年度のKPIは未達となったが、H28年は前年比増の入込観光客数で推移していることから、一定の効果があったものと分析している。事業内容の改善を図るなどして引き続き効果的な事業実施を行っていく。	
12	外国人観光客おもてなし事業	大型クルーズ客船や、国際チャーター便などで訪れる外国人観光客の受入体制の強化を行い、観光地の魅力向上、外国人観光客の増加を図る。受入体制整備の経費 ・物産観光施設に免税コーナーを設置経費 ・クルーズ船寄港時のシャトルバス運行経費 ・水木しげる記念館の多国語音声ガイドや館内公衆無線LANの整備費 ・妖怪キャラクターの着ぐるみでおもてなしするための人件費等 ・台湾への観光PRのための経費等	基礎交付	10,596,000	指標①	水木しげる記念館外国人入館者数	8,000	人	H28.3	7,157	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	KPIは未達となったが、前年比増の外国人入館者となり、一定の効果があったものと分析している。クルーズ客船等で訪れる外国人観光客数も増加していることも踏まえ、事業内容の改善を図るなどして引き続き効果的な事業実施を行っていく。	
13	中海・宍道湖・大山圏域観光振興プロジェクト	中海・宍道湖・大山圏域で連携して観光振興事業を実施する。 ・関西圏、中京圏での圏域PRの実施 ・圏域インバウンド対策の実施 ・山陰いいものマルシェの開催	タイプ I	20,600,000	指標①	圏域への観光客入込数	30,700,000	人	H28.3	28,487,613				現時点で把握可能なデータでは、目標値を相当程度達成しており、一定の効果があったものと分析している。平成28年度においては、地方創生加速化交付金を活用し、圏域ブランディング体制の整備とブランド確立及び発信に取り組む、更に事業を進展させる計画としている。 また、今後は地方創生推進交付金の活用も視野に入れて事業展開を検討する予定である。
					指標②	圏域での外国人宿泊客数	68,000	人	H28.3	85,235	地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる		
					指標③	山陰いいものマルシェ来場者数	50,000	人	H28.3	45,000				
14	鳥取県西部圏域版「DMO」推進調査事業	各市町村の現状分析及び地域資源における調査・研究を行い、官民が連携する機運をさらに高め、S・W・O・T分析により、圏域の強み、弱み等を把握し、これらの調査結果を踏まえて鳥取県西部圏域におけるDMOの設立を目指す。	タイプ I	1,501,000	指標①	報告書作成	1	件	H28.3	1	地方創生に相当程度効果があった	追加等更に発展させる	H27年度で検証事業を終了。地方創生加速化交付金、推進交付金を活用して、DMOの設立に向けて事業を進展させていく。	

	交付対象事業の名称	事業概要	交付金の種類	実績額		本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
				単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
15	鳥取県西部地域移住定住推進連携事業	鳥取県西部圏域内の全ての市町村が連携し、関西圏において、鳥取県西部への移住の参考となるセミナー・相談会を開催するとともに、セミナー参加者のうち希望者を対象とした関西発着の移住体験ツアーを実施、圏域の特色をまとめた定住促進パンフレットを作成する。	タイプⅠ	735,217	指標① セミナー参加者数 指標② ツアー参加者数 指標③ パンフレット作成 指標④ 累計移住者数(圏域)	50 20 5,000 2,100	人 人 部 人	H28.3 H28.3 H28.3 H32.3	44 21 5,000 914	地方創生に相当程度効果があった	追加等更に発展させる	KPIを概ね達成しており、一定の効果があつたものと分析している。今後は地方創生加速化交付金を活用して、PR映像の作成など情報発信強化の取組を実施し、事業を発展させていく。	
16	水族館整備に係る調査検討事業	県、境港管理組合と連携し、水族館設置に向けて必要な実現可能性調査等を実施する。	タイプⅡ	2,200,000	指標① 水族館設置に向けての基本構想策定	1	件	H28.3	1	地方創生に相当程度効果があった	追加等更に発展させる	基本構想の策定事業を終了し、水族館の設置に向けて関係機関との協議等、事業を発展させていく。	
17	多子世帯保育所保育料軽減子育て支援事業	国の軽減制度と県と連携した軽減制度を組み合わせ、同一世帯の第3子以降の児童の保育料を無償化する。	タイプⅡ	3,100,000	指標① 第3子以降の出生数の前年度からの増	1	人	H28.3	15	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	KPIを上回る実績となり、少子化対策に効果があつたと認められるため、事業を継続実施していく。	
18	特別医療費助成事業	県と連携して小児特別医療費助成の助成対象年齢を引き上げる(中学校卒業まで⇒高校卒業まで)。拡充は平成28年度より実施。平成27年度は拡充に対応するためのシステム改修を実施。	タイプⅡ	1,200,000	指標① 平成28年度助成開始体制の整備	1	件	H28.3	1	地方創生に相当程度効果があった	追加等更に発展させる	H28年度からの事業開始に向けてのシステム改修等の準備事業を終了し、対象を拡大した医療費助成事業を実施していく。	
19	水木しげる記念館入館者誘致事業	水木しげる記念館で新たな企画展示(トリックアート企画展)を開催し、入館者数の増加を図る。	タイプⅡ	3,266,000	指標① 水木しげる記念館入館者数	210,000	人	H28.3	180,704	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	H27年度のKPIは未達となったが、H28年は前年比増の入館者数で推移していることから、一定の効果があつたものと分析している。事業内容の改善を図るなどして引き続き効果的な事業実施を行っていく。	
20	ブックスタート・シンポジウム開催事業	ブックスタートの取組に対するシンポジウムを開催し、取組のさらなる深化及び効果の増進を図る。	タイプⅡ	234,000	指標① シンポジウム開催回数 指標② シンポジウム参加者数	1 250	回 人	H28.3 H28.3	1 144	地方創生に効果があった	予定通り事業終了	参加者数のKPIは未達であったが、幼児期からの本の読み聞かせの普及という子育て環境の充実に向けて一定の効果があつたと思われる。今後も、子育て環境充実に向けた普及啓発事業を実施していく。	